

三和かわら版

■vol.9■

平成27年5月
発行：
三和グランド(株)
03-3839-8501

透水性・保水性舗装材が 日本の夏を涼しくする！

二〇一四年八月、環境省より「二〇二〇オリンピック・パラリンピック東京大会」に向けて、「ヒートアイランド現象の抑制」のため透水性舗装・保水性舗装により真夏の暑さを緩和する計画が発表されました。

下記の写真は、港区西新橋一丁目の歩道です。港区では、保水性道路への打ち水の協力を呼びかけており、こちらの歩道には、当社の「パークスルー」を採用いただきました。

当社の舗装材は全て、主要骨材に「高炉水砕スラグ」を採用しており、透水性・保水性機能の両方を有しています。

当現場は、施工後五年経過していますが、しっかりと透水性・保水性機能を維持しており、東京の「ヒートアイランド現象の抑制」に一役かっています。



国土交通省がすすめている保水性道路（打ち水ロード）
保水性ブロック「パークスルー」

『打ち水大作戦』は、江戸時代の庶民の知恵「打ち水」がヒートアイランド現象に対してどのような効果を持つのか、決められた時間にみんなदैいっせいに打ち水をして、その効果を検証しよう、という壮大な社会実験として二〇〇三年からスタートした活動です。

みんなの手でまかれた水は、まずは直接地表の温度を下げます。その後、当社の舗装材にしっかりと透水性・保水性され、長く気化熱の効果を発揮して、都市の涼しさを持続させます。（当社の舗装材は、一回の打ち水で三日間保水する能力を持っています）

みんなदैいっせいに打ち水をする。たったそれだけの手軽で楽しい環境対策。実際に気温を下げるのはもちろんのこと、その実施プロセスを通して、環境意識の啓発や水の再利用の促進、近隣コミュニティの再生など、様々な効果をもたらす呼び水となっています。

打ち水の作法

- 一． 打ち水大作戦では、水道水を使わない。
- 二． 打ち水大作戦には、雨水や二次利用水（お風呂の水など）を使う。



打ち水大作戦



透水性高炉スラグ舗装材「カラーサンド」
@ 荻公園



水をまくと涼しくなるのは、水が蒸発する際、地面や空気の熱を奪って気化するからです。この熱のことを、【気化熱】と言います。

☁ = 水蒸気 🔴 = 熱